

# 和牛産肉能力直接検定成績

真喜志修 金城寛信 棚原武毅

## I 緒 言

当場では、種雄牛候補牛の産肉能力評価のため、和牛産肉能力検定（直接法）を実施している。そこで、1998年4月から1999年3月までに和牛産肉能力検定（直接法）を終了した牛の成績について取りまとめたので報告する。

## II 検定牛および検定方法

検定牛は、肉用牛群改良基地育成事業に基づき、認定された雌牛に計画交配し、生産された子牛のうち、産子調査により選抜された21頭の雄子牛である。

検定種雄牛の概要を表1に示した。検定牛の父と母の組み合わせでは、田尻系×田尻系が8頭、第7系桜系×第7系桜系が4頭、田尻系×第7系桜系が4頭、田尻系×気高系が2頭、第7系桜系×田尻系、第7系桜系×気高系および田尻系×広島系がそれぞれ1頭であった。

検定方法は、全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定法<sup>1)</sup>（直接法）により実施した。直接法とは、7から8か月齢の雄子牛を単房式牛房にて112日間飼養し、その期間濃厚飼料は朝夕2回の時間制限給餌、粗飼料は乾草を不断給餌し、増体量や飼料要求率等を調査するものである。

表1 検定種雄牛の概要

No.	名 号	生年月日	血		統		生産地
			父	母	母方祖父	母方曾祖父	
1	良 忠	97. 4. 1	安波土井	さかもと13	糸 光	晴 美	伊江村
2	清 国	97. 6.19	北国7の8	み の る	富 士 晴	福 岩 田	今帰仁村
3	春 良	97. 6.16	金 鶴	くみまさ8	忠 福	豊 和	石垣市
4	国 実	97. 6.14	北国7の8	み の る	富 士 晴	福 岩 田	今帰仁村
5	光 輝	97. 5.30	北国7の8	み す ず	金 鶴	藤 波	城辺町
6	金 波	97. 7. 7	金 鶴	は な み	安波土井	糸 富 士	伊江村
7	安 鶴	97. 7.14	金 鶴	ひ ろ こ	安波土井	中 部 6	伊江村
8	安 金 美	97. 7.27	安波土井	ひ さ み	北国7の3	第8岩永	今帰仁村
9	福 安	97. 8. 8	安波土井	いとゆたか	糸 富 士	第7系桜	伊江村
10	糸 金	97. 9.12	北国7の8	ふ じ み	富 士 晴	安波土井	平良市
11	北 鶴	97. 9. 4	金 鶴	か な め	北国7の8	富 士 晴	城辺町
12	久 美	97. 8.25	金 鶴	やすひめ	安波土井	北国7の3	伊江村
13	金 波	97. 9. 2	金 鶴	こ い と	安波土井	立川17の6	伊江村
14	和 好	97.10. 1	金 鶴	お し ん	安波土井	本 金	伊江村
15	直 美	97.10. 7	北国7の8	な お よ	糸 富 士	晴 姫	城辺町
16	新 鶴	97.10.10	金 鶴	な ご み	晴 姫	糸 富 士	城辺町
17	長 鶴	97.11. 7	金 鶴	と み こ	長 尾	糸 茂	石垣市
18	安 谷 美	97.12.22	安福165の9	ひとひめ	安波土井	篤 郎	今帰仁村
19	安 福 光	97.12.24	安福165の9	じ ん こ	安波土井	篤 郎	今帰仁村
20	仁姫土井	98. 3.24	安波土井	な つ き	篤 郎	福 富	今帰仁村
21	若桜7の8	98. 2. 1	北国7の8	たんぼぼ	晴 姫	富 士 晴	伊江村

## Ⅲ 検 定 成 績

検定成績は、表2および表3に示すとおりである。各調査項目の平均値は、開始時日齢232.3日、開始時体重244.1kg、終了時体重372.4kg、180日補正体重198.5kg、365日補正体重395.9kg、DG1.15kg、粗飼料摂取率51.6%、各飼料要求率（濃厚飼料3.06、粗飼料3.25、DCP0.45、TDN3.54）である。

DGについては、直美の1.36kg、安金美の1.29kg、久美の1.28kg、新鶴の1.25kg、和好の1.22kg、光輝、長鶴の1.21kgおよび良忠の1.20kgが優れている。

365日補正体重については、直美の476.8kgが最も優れており、安谷美の323.0kgが最も劣っている。

飼料要求率（TDN）については、春良の3.05が最も優れ、4.37の長鶴が最も劣っている。

21頭の平均値を1997年度の全国平均値<sup>2)</sup>と比較すると、DGは劣っているが、飼料要求率（DCP、TDN）は優れている。

表2 検定成績

No.	名 号	開始日齢	体 重				DG (kg)
			開始時	終了時	180日補正	365日補正	
1	良 忠	255	305	439	224.1	436.6	1.20
2	清 国	225	223	348	184.4	379.4	1.12
3	春 良	228	210	338	172.1	366.5	1.14
4	国 実	230	230	358	186.5	384.2	1.14
5	光 輝	245	237	373	196.1	382.7	1.21
6	金 波	249	251	366	190.0	370.1	1.03
7	安 鶴	242	218	344	169.8	356.4	1.13
8	安 金 美	229	235	379	191.1	410.0	1.29
9	福 安	217	213	337	181.8	377.0	1.11
10	糸 金	200	253	368	230.7	422.6	1.03
11	北 鶴	208	260	370	235.0	414.1	0.98
12	久 美	218	247	390	209.2	434.8	1.28
13	金 波	258	255	387	194.0	381.1	1.18
14	和 好	229	278	415	224.9	444.3	1.22
15	直 美	223	284	436	237.0	476.8	1.36
16	新 鶴	220	256	396	221.9	437.3	1.25
17	長 鶴	238	265	401	207.7	419.2	1.21
18	安 谷 美	255	212	325	158.5	323.0	1.01
19	安 福 光	254	222	345	166.1	343.9	1.10
20	仁 姫 土 井	202	218	325	197.5	374.0	0.96
21	若 桜 7 の 8	253	255	380	190.1	380.0	1.12
	平 均 値	232.3	244.1	372.4	198.5	395.9	1.15
	標 準 偏 差	18.0	25.9	32.9	23.4	37.8	0.11
	全 国 平 均 値	—	—	—	—	—	1.18

注) 全国平均値は1997年度(429頭)の平均値

表3 検定成績

No.	名号	粗飼料摂取率 (%)	飼料要求率				体型評点	備考
			濃厚飼料	粗飼料	DCP	TDN		
1	良忠	56	2.63	3.34	0.41	3.27	81.4	○
2	清国	49	3.17	3.01	0.45	3.52	80.5	△
3	春良	52	2.63	2.80	0.39	3.05	81.0	
4	国実	46	3.24	2.77	0.45	3.47	81.8	
5	光輝	50	2.98	2.95	0.43	3.36	82.1	◎
6	金波	51	3.23	3.43	0.48	3.74	81.9	
7	安鶴	54	2.62	3.10	0.40	3.15	80.5	◎
8	安金美	53	2.67	3.07	0.40	3.18	82.4	△
9	福安	51	2.96	3.10	0.43	3.41	80.7	
10	糸金	52	3.26	3.50	0.48	3.78	82.3	
11	北鶴	51	3.02	3.10	0.44	3.45	81.7	
12	久美	48	3.21	3.01	0.46	3.55	82.5	○
13	金波	58	2.62	3.64	0.42	3.37	81.8	
14	和好	55	2.60	3.12	0.40	3.15	83.0	○
15	直美	51	2.83	2.99	0.42	3.26	83.3	◎
16	新鶴	54	2.61	3.11	0.40	3.16	81.5	○
17	長鶴	50	3.88	3.82	0.56	4.37	83.0	○
18	安谷美	48	3.65	3.40	0.52	4.02	80.7	○
19	安福光	48	3.80	3.54	0.54	4.19	81.3	○
20	仁姫土井	52	3.35	3.64	0.50	3.90	81.5	○
21	若桜7の8	54	3.34	3.91	0.51	4.01	82.9	
平均値		51.6	3.06	3.25	0.45	3.54	81.8	
標準偏差		3.0	0.40	0.33	0.05	0.38		
全国平均		—	—	—	0.57	4.34	—	

注) 全国平均は1998年度の平均値。

◎は産肉能力検定(間接法)選抜牛 ○は産肉能力検定候補選抜牛  
△は兄弟検定牛

これらの検定牛の中から母牛の育種価および選抜基準<sup>2)</sup>(DG1.20kg以上または365日補正体重430kg以上)に基づき良忠、光輝、安鶴、安金美、久美、和好、直美、新鶴、長鶴、安谷美、安福光、仁姫土井の12頭を選抜した。

これら選抜牛のうち、光輝、安鶴、直美に関しては、平成10年度第2回沖縄県肉用牛改良増殖対策推進会議専門委員会において産肉能力検定(間接法)実施牛として選抜され、良忠、久美、和好、新鶴は選抜されなかった。

長鶴、安谷美、安福光、仁姫土井に関しては、次年度以降の産肉能力検定候補牛として選抜した。

また、清国、安金美に関しては、兄弟検定中であり、兄弟検定の成績を加味して判断することとした。

#### IV 引用文献

- 1) 社団法人全国和牛登録協会、1993、和牛登録事務必携
- 2) 社団法人全国和牛登録協会、1998、和牛種雄牛産肉能力検定成績
- 3) 沖縄県農林水産部、1988、沖縄県肉用牛群改良基地育成事業実施細則